



柿 特 報 No.5

H 2 9 . 7 . 2 8

J A 中野市営農センター

J A 中野市柿研究会

6月19日ごろに梅雨明けと気象庁から発表がありましたが、連日降雨が続いており、地面がぬかるんでいます。薬剤防除の際は、SS運転に十分注意を払い、農作業事故の無いよう、防除を実施してください。

園地の着果状況を必ず確認してください。樹によってもバラつきがありますので、状況に応じて適正着果に努めましょう。

病虫害防除

隣接園(特に収穫期の作物)に飛散しないように注意してください

7月末～8月上旬の散布(8月10日まで)

散 布 薬 剤	水	1 0 0 ℓ	散布日	月	日
	展着剤	1 0 mℓ	散布量	ℓ	
	オーソサイド水和剤 8 0	1 0 0 g	(収穫 7 日前、5 回以内)		
	劇)オリオン水和剤 4 0	1 0 0 g	(収穫 2 1 日前、3 回以内)		
対象病虫害	落葉病、炭疽病、すす点病、 アザミウマ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類、イラガ類、 カキノヘタムシガ、ケムシ類、カキノヒメヨコバイ				
散 布 量	1 0 a 当り 5 0 0 ℓ * 若木の場合、樹体にしっかり散布できる量を散布する				
注 意 事 項	* 昨年、落葉病が発生した園地では必ず散布する。 * オーソサイド水和剤 80 に代えて、スコア顆粒水和剤（前日、3 回） の 3, 000 倍を使用してもよい。				

●今後の管理について

- * 摘 果・・・遅くとも7月末までに実施する。傷果・変形果を中心に落とす。
- * 新梢管理・・・主幹・主枝から出ている徒長枝を中心に、早めに整理する。
- * 雑草管理・・・主幹害虫対策として、根元は常にきれいにしておく。
除草剤：バスタ液剤(収穫前日まで、3回以内)
水 100～150ℓあたり、バスタ液剤 500mℓ
- * 乾燥防止・・・敷き草や敷きワラを実施しましょう。
(根元 50cm 空けて厚く敷く)

農薬(毒物・劇物)をお買い求めの際には、印鑑をご持参ください。